

令和5年10月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和5年10月19日(木) 午後2時30分～午後3時40分
2. 場 所 岸和田市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 谷口 馨
委 員 野口 和江 委 員 和田 郁美
4. 事務局出席者
教育次長兼教育総務部長 藤浪 秀樹/学校教育部長 片山 繁一
生涯学習部長 牟田 親也/総務課長 井上 慎二/学校適正配置推進課長 池内 正彰
学校給食課長 寺埜 朗/学校管理課長 松下 英俊/産業高校学務課長 橋本 純
学校教育課長 松本 秀規/人権教育課長 松本 真里/生涯学習課長 井出 英明
スポーツ振興課長 河内 みどり/郷土文化課長 田中 幸博/図書館長 濱崎 賢治
総務課参事 柿花 真紀子

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に植原教育長職務代理者を指名した。
傍聴人0名。

○大下教育長

ただいまから、10月定例教育委員会会議を開催します。

報告第59号 令和6年度入園児募集結果について

○大下教育長

報告第59号について、説明をお願いします。

○井上総務課長

報告第59号につきましては、令和6年度入園児募集結果についてです。

4、5歳児の募集を10月5日、6日に実施しました。10月6日現在の願書受付状況ですが、別紙①をご覧ください。5歳児は新規受付が9名、継続児が238名の合計247名、4歳児は新規受付が32名、継続児が190名の合計222名です。

次に別紙②をご覧ください。4、5歳児の10月6日現在の来年度の入園率は5歳児18%、4歳児16%で今年度と同じ割合になっています。なお、校区別の入園率は通園区が廃止されていますので、参考程度にご覧下さい。

次に平成30年度から令和6年度の推移について別紙③をご覧ください。2枚目の最後に集計

を載せていますが、真ん中あたりの合計数をご覧ください。令和2年度以降減少していますが、減少幅は小さくなってきています。

なお、小規模園で実施している近隣園との交流は、10名未満の園で実施されますが、来年度、浜幼稚園と岸城幼稚園、修斉幼稚園と天神山幼稚園、城東幼稚園と山直北幼稚園、山滝幼稚園と山直南幼稚園の4か所で引き続き実施の予定です。春木幼稚園は10名を超えましたので、小規模園としての交流事業は実施しない予定です。東葛城幼稚園も5名となっていますが、小規模特認校である東葛城小学校に準じて取り扱うため、この取り扱いは行いません。

次に、通園区を廃止した影響については、4歳児受付数のうち校区外からの申込者は、29名のうち、来年度公立幼稚園のない校区の東光校区と太田校区在住者は12名でした。3歳児から幼稚園に通っており4歳児で校区の園に戻らなかったケースや引っ越し予定などです。5歳児受付数のうち校区外からの申込者は、38名のうち、東光校区と太田校区在住者は20名でした。こちらも小学校入学までに転居を考えているケースや送迎の都合などです。以上のことから、通園区の廃止は、一定のニーズに込えているものと考えております。

○大下教育長

説明が終わりました。幼稚園については、先月3歳児の募集結果の報告があり、定員内に留まったので抽選はなかったということでした。今回は4、5歳児の報告ということですが、全歳児を合わせても定員充足率は64.6%ということで、大変厳しい状況となっています。

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

公立幼稚園の入園率は5歳児で18%、4歳児で16%と資料にあります。国や市では就学前教育について熱心に言われています。公立幼稚園以外の入園もあるかと思いますが、在宅率の割合、要するに就学前教育を受けないで小学校に行く割合はわかりますか。

○井上総務課長

先月の定例教育委員会で質問いただきまして、本日報告予定でした内容でもありますので、ご説明いたします。子育て部局に確認をしました。保育所や民間の保育園、認定こども園、それらの市外の施設に入所している人数は、市を通じた申込であるため分かりますが、在宅児と認可外の施設利用者などの正確な人数は分からないとのことでした。

そこで、現在の「第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」の策定の際の資料として実施したアンケート結果を用いてご報告します。「平日の定期的な保育利用の有無」について、歳児毎に利用している、していないという結果が記載されています。

0歳で利用しているのが29.6%、1歳で53.5%と、歳児が上がるにつれその割合が増え、3歳で91.2%、4歳で99.2%、5歳で100%となっています。また利用先についてもグラフ別で示されています。

なお、この調査は市内の未就学児がいる世帯を無作為抽出した2880件に送付し、回答数が1568件、回収率54.4%の結果ですので、ご参考までに見ていただけたらと思います。

○植原教育長職務代理者

5歳児はほとんど利用されている結果となっています。岸和田市の就学前教育が、教育・保育要領等をきちんと押さえ広く実践されている、小学校への連携教育も考えやすいと取れるかと思っています。大変役に立つ資料かと思っています。有難うございます。

○大下教育長

民間園や民間保育所が実態として多いですが、それら施設と小学校との連携は現状どうなっていますか。

○松本学校教育課長

公立幼稚園では、小学校との連携が盛んに行われています。民間園や民間保育所については、一昨年度から民間園や保育所の先生方にも、幼稚園や幼小で行っている研修に来ていただいたりするなどして、連携を進めているところです。認定こども園へと移行する中、他の様々な取組とともに、子ども達が小学校にスムーズに上がれるよう取り組んでいる最中です。

○植原教育長職務代理者

認定こども園になると管理は市長部局と聞きます。教諭や子どもへの指導は教育委員会で行うのでしょうか。

○松本学校教育課長

最終的な形は、現在協議中です。しかし、近年、保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも幼稚園要領と同じく、幼児教育が取り入れられ、この先、保育所や認定こども園でも幼児教育が大切となってきております。これまで、幼稚園では幼児教育を行ってきており、そのスキルを推進していくことが求められます。よって、仮に教育委員会が認定こども園を所管しないとなっても、連携して幼児教育の推進に取り組んでまいります。

○植原教育長職務代理者

認定こども園化をした中で、教育連携を進めていくのは大変かと思います。現状、話を聞く限りでは先取りした指導をされていて有難く思います。

○野口委員

説明を聞き逃したかもしれませんが、小規模園になった城東・山直南・山滝は3園で交流をされるという状況でしょうか。

○井上総務課長

小規模園ではない時代から、山直北を含め、城東・山直南・山滝はブロックで交流をされていますが、小規模化したことによる交流ということで言いますと、近隣の園との交流となりますので、山直南幼稚園は山滝幼稚園と、城東幼稚園は山直北幼稚園との交流となっています。

○野口委員

両園あわせても10人や11人ということで、集団の教育内容を確保していくのはなかなか難しいかと思います。常時2園と一緒に活動を行うということでしょうか。

○井上総務課長

交流は原則週に複数回ということで、自園での活動や小学校や地域との交流もありますので、週に2～3日程度近隣園と行っています。移動にかかる交通費を予算要求し予算化しています。

○野口委員

小規模の園児の教育についての特化した研究はされていますか。小規模になりますと、私も以前に経験したことがあります。子ども達が一言も言葉を交わさずにただそこにいるだけでお互いに分かってしまいますし、言葉や行動を通してお互いに関わっていくということがないままに時間を過ごしていくというような場面があったのを記憶しているのですが、そういうことがないように、小規模でも子ども達が自分達の言葉の力をどんどん高めていけるような特化

した研究はされているのでしょうか。各幼稚園の研究課題だろうとは思いますが。

○片山学校教育部長

幼稚園では、市内5つのブロックに分かれ、課題研究しています。子ども達の関係が薄くなるというのが小規模園では考えられますが、今年は大宮幼稚園などの3ブロックで、子ども達が、自分の思いを言葉で伝えるという研究が行われており、近々報告会を行う予定です。小規模になると子どもが次にこういったことで困るのではないかと先生が先回りしてしまうことがあります。しかし困っている状況は子ども達にとっては成長のチャンスであり、そこは子ども達の動きを待ちましようということ意識しながら研究をしてもらっていると認識をしています。

○松本学校教育課長

部長から申し上げましたように、言語等の充実に関してはそれぞれの幼教研で研究されていますが、小規模園に特化した各ブロックでの研究はできていません。付随して小規模についての話になることはあります。小規模交流に関する会議などに幼稚園出身の指導主事が出席しています。

○野口委員

有難うございました。大規模園であると、子ども同士が言葉を交わして意思疎通をするという機会があり、また意図的に色々な子ども達の集団を作るという事もできるので、5人や3人となりますと、先生も戸惑われる状況になってくると思います。教育委員会としてもしっかりと支えていただけたらと思います。

○大下教育長

修斉幼稚園を見ましても4歳児がゼロですので、来年仮に入園者がいないと、現実的に休園になってしまいます。野口委員がおっしゃられたように、小規模が故の教育の課題が多々ありますし、交流をするとしてもそんなに集団規模を確保できるわけではない、また登園してから他の幼稚園に移動するという事で負担も多いということで、5名未満は入園時に保護者には現状と転園についてお伝えし、それでもその園にということであれば尊重して対応しているところ。5名未満となっている浜や修斉の状況はどうでしたか。

○井上総務課長

新規入園児の方には、転園勧奨として幼稚園側から事情をお伝えし、その園に通いたいという強い意思を確認しております。また継続児に関しても、その園で卒園したいという意思を確認しております。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第60号 令和5年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について

○大下教育長

報告第60号について、説明をお願いします。

○松本人権教育課長

報告第60号につきましては、令和5年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施についてです。

1点目、人権を考える市民の集いは、12月2日（土）14時から16時、マドカホールで開催します。今年度は、「破戒」という映画上映です。別添チラシを配付させていただきました。お時間がありましたら是非ご参加下さい。

2点目、人権を守る作品展は、12月1日（金）から3日（日）10時から17時、マドカホール1階展示場で、全小中学校、産業高等学校の児童生徒の人権標語と人権ポスター、園児、小中学生の写真パネル、夜間学級の鉛筆ポスターなどの展示をします。また、巡回人権を守る作品展は、記載の日時と会場で行います。各会場の近隣の小中学校、産高の作品を展示します。

3点目、人権週間記念品として、子ども達の作品の中から選ばれた標語1点とポスター6点を印刷したクリアホルダーを予定しています。

委員の皆様には、参考までに昨年のものを配付させていただいております。子ども達が毎日使い、日常的に作品に触れることができるため、毎年、活用をいただいております。

幼稚園から小学校、中学校、産業高等学校の幼児児童生徒及び全教職員に1人1枚、12月に配布を予定しております。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

昨年のクリアホルダーを一目見て、掲載されている中学生の作品が非常に素晴らしいなど感動しています。この作品は、クリアホルダー以外に活用されている場面はあるのでしょうか。色使いや書かれている言葉も素晴らしいので、大きなパネルにして駅などに掲示したりすると、市民への啓発にもなるのではないかと思います。

○松本人権教育課長

有難うございます。クリアホルダー以外ですと、広報きしわだ12月号で、人権・男女共同参画課の担当紙面で、一部作品を掲載しています。

○谷口委員

工事の際の目隠しのボードに描かれているところもありますし、ただの壁ですがそこに子ども達が絵を描いてというのもあり、対外的にもその市がそういった事を大事にしているという事が同時に伝えられると思います。見るとはなしに見る情報は、潜在意識に一番残ると言われてもいますので、私も野口委員と同じ意見で、良い作品ですのであちこちに掲示していただけたらと思っています。是非、ご検討いただければと思います。

○和田委員

標語とポスターは夏休みの宿題であったかと思いますが、選考はどなたがされていますか。

○松本人権教育課長

毎年順番に複数校から編集委員として委嘱させていただいた代表の先生方と教育委員会事務局で選考をしています。

○和田委員

教育委員会所管ではないかもしれませんが、文化祭で子ども達の科学作品展があるのですが、見に行ける時間が平日3日間の17時位までしかないとなっていて、働いている保護者が見に行けなくてというのを聞きます。日や時間をずらしたりはできないでしょうか。

○松本学校教育課長

以前からの課題になっているものです。歴史を辿りますと、学校の先生方が子ども達の作品を文化祭に展示してあげたいという事で始まり、受付等も含めて、学校の先生方の手により文化祭で展示をしています。地域の方にも手伝っていただいていたという話もありましたが、現時点では先生方で行われ、そのため夜遅い時間まで展示に関わるという事が難しい状況です。今後何かよい手法を検討していきたいと思っています。

○谷口委員

活用の仕方の一例になるかわかりませんが、今、市役所の1階で「むし歯予防」のポスターを貼っていただいています。歯科医師会としての利用の仕方として、110件位ある歯科医院に事前に希望調査をし、A3の大きさに拡大コピーシラミネート加工した絵を何点か、待合室に貼っていただけるようにと配っています。歯科医院にとって毎年絵を変えることができますし、見る人にも中学生の絵を喜んで見ていただけます。あまりお金をかけずに見る機会が増えるような手立てを考えていただけたらと思います。

○松本人権教育課長

有難うございます。巡回作品展として各センターで掲示をし、市役所の入口にも2月に一部掲示いたします。各地域で人権に関することを子ども達の作品を通して市民の皆様に見ていただくのは大事なことだと思いますので、また検討していきたいと思っています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第61号 第43回 市民スポーツカーニバルの開催について

○大下教育長

報告第61号について、説明をお願いします。

○河内スポーツ振興課長

報告第61号につきましては、第43回 市民スポーツカーニバルの開催についてです。

毎年、11月3日にまなび中央公園スポーツ広場におきまして、子どもから高齢者までスポーツを楽しんでいただけるよう、市民の皆様と一緒に開催しているイベントです。

別紙①は当日のプログラムです。今回は、岸和田市こども会育成連絡協議会60周年記念事業として、校区対抗タイヤ曳きレース‘つなGO和’が行われます。そこが例年と異なる点です。別紙②はチラシです。今回は、コロナ前と同じく全24校区から参加いただけることとなります。今後周知を図っていきます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

今年は全校区ということですが、昨年まではコロナで不参加のところもあったけれど、コロナ前に戻ったということでしょうか。

○河内スポーツ振興課長

令和2年、3年はコロナ禍で開催できませんでした。令和4年は人が揃わないということで、幾つかの校区は欠席をされました。今回は、皆さん揃って参加ということになりました。

○和田委員

以前は、体力テストのような項目があったかと思います。今年はないのでしょうか。

○河内スポーツ振興課長

はい。今年については、このプログラム内容で調整して進めております。

○野口委員

私も以前勤務していた学校で、まず地域で運動会をされて、どの町が代表で出るかと地域が非常に盛り上がっていたことを思い出しました。地域の元気をいただいたような記憶があります。そんな風に戻っていったらいいなと思います。宜しくお願いします。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 62 号 KISHIWADA SPORTS FES2023 について

○大下教育長

報告第 62 号について、説明をお願いします。

○河内スポーツ振興課長

報告第 62 号につきましては、KISHIWADA SPORTS FES2023 についてです。

今年も 11 月 5 日に岸和田カンカンベイサイドモールで、普段体験する機会の少ないスポーツにも新たに気軽にチャレンジいただけたらという目的で開催します。

内容はチャレンジメニューが 6 つあり、各ブースで体験いただき、スタンプラリーも行いますので、スタンプ数に応じて抽選も行うものです。昨年度初めて実施し、1,867 名参加いただきました。今年も多くの方にご参加いただき、新しいスポーツに触れていただきたいと考えています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

今年新しい種目となるデジタル卓球について、内容を教えて下さい。

○河内スポーツ振興課長

モニターに映った相手に向かって卓球をするものです。

○野口委員

参加するにあたって事前に申込が必要でしょうか。

○河内スポーツ振興課長

事前申し込みは不要ですので、当日気軽に立寄り、体験いただけるものになっています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 63 号 ラヂオきしわだ番組放送について

○大下教育長

報告第 63 号について、説明をお願いします。

○河内スポーツ振興課長

報告第 63 号につきましては、ラヂオきしわだ番組放送についてです。

スポーツや健康づくりの楽しさや大切さを広くリスナーの皆様にお伝えし、運動をはじめの人を増やすことをめざして、ラヂオきしわだで13回シリーズの番組を放送します。

期間は、令和5年11月から令和6年1月末までの13回、放送は、毎週日曜日の16時から16時15分です。番組名は、きしわだレボリューションと言い、日頃、運動をしない人にも、なにか「やってみよう」と感じてもらい、ライフスタイルの変革につながれば、との想いをこめて、レボリューションという言葉を使用しました。

内容は、スポーツの魅力・イベント・スポーツ施設や教室の紹介、スポーツに関わる市民の皆様にご登場いただき、活動や想いを紹介します。ラジオ放送以外にも、インターネットを利用してスマートフォンやパソコンで聞くことができるため、この機会に本市のスポーツに関する情報を発信していきたいと考えています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

身体を動かすことは必要であると思いつつ、実際に行動に移すとするとその数はぐんと落ちると言われます。スポーツクラブに入会しても、1年たつて継続できている人は3割もないと言われます。ラジオ放送で、同じ時間帯であれば同じ方が聞かれることになるかと思いますが、様々な内容で広く発信していただいたら、スポーツ推進計画の目標値、週1回以上運動、スポーツを実施する市民の割合向上にもなると思います。是非放送いただければと思います。

○大下教育長

インターネットであれば、放送時間外であっても、遡って聞いたりができるのでしょうか。

○河内スポーツ振興課長

リアルタイムでの放送のみと聞いています。インターネットですので、どこの場所からも聴いていただけます。

○大下教育長

音源を保存していつでも聞けるようにすれば、谷口委員がおっしゃられるような、時間に拘束されない聴衆者も増えるのではないかと思います。ラヂオきしわださんにも一度聞いていただければと思います。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第64号 ジャパンカップBMXレーシング2023・JOCジュニアオリンピックカップBMXレーシング2023の開催について

○大下教育長

報告第64号について、説明をお願いします。

○河内スポーツ振興課長

報告第64号につきましては、ジャパンカップBMXレーシング2023・JOCジュニアオリンピックカップBMXレーシング2023の開催についてです。

日本トップレベルのBMXの大会が、昨年に引き続き、春木若松町のサイクルピア岸和田BMXコースで開催されます。主催は、公益財団法人日本自転車競技連盟です。本市では2027年にワールドマスターズゲームズ(WMG)関西2027のBMXレーシングを開催することから、BMXの

競技人口の増加と WMG 開催への気運醸成をめざし、国内最高峰の大会を間近で見学できること、同じコースで BMX の試乗ができることを PR します。

期日は 11 月 19 日（日）で、前日の 18 日（土）は公開練習日で見学が可能です。有料の観覧席も設けられますが、入場は無料です。

今回はコロナの影響も少なくなっており、海外からの参加者もあると聞いています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

岸和田市出身の方も出場されますか。

○河内スポーツ振興課長

昨年ですが、岸和田市出身で活躍されている方も、今年も出場すると聞いています。インタビューをして、先程のラジオ番組内で放送出来たらと思っています。

○野口委員

資料に記載の主催と主管は、どう違うのでしょうか。また教育委員会は主催や共催ではないようですが、どういった立ち位置で関わられるのでしょうか。

○牟田生涯学習部長

主催は自転車競技連盟ですが、大会の運営は主管の一般社団法人全日本フリースタイル BMX 連盟の方で行われるものです。

○河内スポーツ振興課長

教育委員会としては、BMX の機運醸成という事で、広報に関わります。

○大下教育長

責任と権限を有するのが主催ですが、窓口になり運営を担当されるのが、主管の BMX 連盟運営であるかと推測します。認識が誤っていましたら、また次回訂正下さい。

○和田委員

岸和田市で開催されるのを嬉しく感じます。このような大きな大会が開催できる場所は全国に何か所くらいあるのでしょうか。

○河内スポーツ振興課長

把握していませんが、堺市でも全日本選手権が開催されていますので、少なくとも府内に 2 か所ございます。

○和田委員

エントリー数が 300～350 名とありますが、ここから何名位参加されますか。

○河内スポーツ振興課長

主管先に確認しましたら、夏の堺市での全日本選手権ではこの位の数値であったので、今回はこれよりやや少なくなるであろう、とお聞きしています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 65 号 特別展「動物のあし - 足元から知る生き物のくらし -」の開催について

○大下教育長

報告第 65 号について、説明をお願いします。

○田中郷土文化課長

報告第 65 号につきましては、特別展「動物のあし - 足元から知る生き物のくらし -」の開催についてです。

概要ですが、会期は令和 5 年 10 月 28 日（土）から令和 6 年 1 月 8 日（月・祝）までで、開場は、自然資料館 1 階ホールです。趣旨は、標本や模型、写真、生体等の展示により、動物たちの「あし」の形態や機能について多角的に学ぶ機会とします。内容ですが、令和 3 年度の特別展で、「きしわだカミカミ・ルーム」を開催し、見学者のみならず博物館関係者からも高評価を得ましたので、今回は動物の「あし」にスポットを当て、様々な展示や関連イベントを開催します。令和 3 年度は、谷口委員に記念講演会をお願いし好評でした。別紙チラシ裏面をご覧ください。今回は、特別展スペシャルクイズを行い、全問正解者には商品をプレゼントいたします。また、特別展の内容をより深く理解するため、「磁石で歩くペンギンをつくろう」などのミニ実習を開催します。

周知方法は、広報きしわだ 10 月号、市 HP に掲載とポスター・チラシです。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

協力団体名に自治体関係者以外もありますが、どのような活動をされているのでしょうか。

○牟田生涯学習部長

詳細はわかりかねますが、博物館ネットワークを通じて展示品の貸し借りが行われており、個別の協力団体からも展示品を貸していただきました。

○和田委員

チラシからしてとても楽しそうなイベントです。ミニ実習も魅力的で、子ども達も楽しめそうです。今回生き物の展示数はどのくらいになりますか。

○田中郷土文化課長

数までは把握できていませんが、協力いただいている博物館から画像や写真を多数お借りしています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

他にありませんでしょうか。

○松本学校教育課長

9 月に報告しました、第 52 号令和 5 年度全国学力・学習状況調査及び大阪府小学生すくすくウォッチ、岸和田市学力調査の結果についてで、ご質問をいただきました。

岸和田市学力調査実施数について、全国母数はいくらであったかを業者に確認いたしました。公表はしていないとのことでした。大手教科書会社による実施ですので、全国規模で実施されていると考えられます。

○河内スポーツ推進課長

9月に報告しました、第55号令和5年度 初心者水泳教室の実施状況について、ご質問をいただきました。

別紙①については、年度別参加状況でなく、年度別申込状況にタイトルを修正しました。別紙②については、泳力テストの結果で、280名がテストを受講され、12名は参加申込されましたが教室を受講されなかった、1名はテスト当日に休まれたという内容となっています。

○大下教育長

ただ今の説明についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。
では、議案の審議に移ります。

議案第 37 号 補正予算について（事業費補正）

○大下教育長

議案第 37 号について、説明をお願いします。

○井上総務課長

議案第 37 号につきましては、補正予算について（事業費補正）です。

ご寄附をいただきましたので、令和5年第4回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくためのものです。

春木旭町にお住いの田中進様から、50,000円を理科教育推進のためということで令和5年10月5日にご寄附いただきました。

歳入歳出予算補正見積書は、別紙のとおりです。歳入として、指定寄附金として5万円を計上し、歳出として基金積立を行い、令和6年度の当初予算に反映させまして、学校教育課において理科教育に関して活用される予定です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
具体的な執行予定はありますか。

○松本学校教育課長

現在検討中ですが、各学校に一つずつではなく、教育センターからの学校への貸出品の購入ができないかと検討しています。

○谷口委員

全校にそれぞれ物品をお渡しするのは、この金額ですと難しいかと思います。使い勝手について、寄附された方にフィードバックされていますか。

○松本学校教育課長

フィードバックしていますので、この件もさせていただく予定です。

○大下教育長

他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
ないようですので、原案のとおり承認することとします。
以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。
ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時40分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員